



### 事業実施内容

この事業は、Mpraeso合同会社が主体となり、ガーナ・エンプレソ地域を中心に、品質の良いカカオの生産をおこない、その利益をコミュニティに還元することを目的としています。

ガーナでは貧困、所得格差拡大、医療問題、教育問題、生産物の品質低下などさまざまな課題があり、また貧困に起因した外国資本への農地売却（金などの資源採掘）が増加し、掘り返され利用できなくなった土地が放棄されるなど、生活基盤が揺るがされています。

そこで、伝統的カカオ栽培を見直し、生産、加工、流通過程を改善することにより、これまでのコミュニティを維持しながら持続的で安定的な経済活動をおこなえるように支援します。また、従来フェアトレード（一次生産者の利益配分を増やす代わりに最終消費者にコスト負担させる）が持続しなかった経験を踏まえ、高品質のカカオ、チョコレートを生産することにより、正当な価格で流通・販売させる新しいモデルを構築します。

そして、すべてのステークホルダーがそれぞれ利益と満足感を得られるような新しいビジネスモデルを構築することを目指し、これを「境界線を溶かすチョコレート」として実践しています。



カカオ豆の品質について協議



完成した新工場での研修

### 事業成果

ガーナのカカオ省（COCOBOARD）と交渉し、品質の良いカカオを高価格で買い取る仕組みを実験的に認めてもらいました。また、カカオ加工工場を建設し、選別された高品質のカカオの加工について現地従業員候補に研修をおこないました。

日本では、現地の選別されたカカオを使ったクラフト生産の実験をおこない、高品質のテリーヌ、チョコレートの生産に成功しました。また、チョコレート作りのワークショップ等を通じてエシカルな製品の製造とアフリカとの経済交流の重要性を理解してもらう活動をおこないました。

こうした活動によって生み出された利益の一部を、現地の医療（とりわけ安全な水の供給とマラリアのワクチン確保）、教育（奨学金基金の設立）、女性労働環境の改善などに還元する基金設立の準備をおこないました。

### 事業の進捗

現在、カカオ買取価格の弾力化について、ガーナ大使館等を通じて改善をお願いしていますが、近いうちに法改正案がガーナ国会で審議される予定です。したがって、法改正後、選別されたカカオの加工が現地工場ですぐに開始できるように、態勢を整えているところです。

これにあわせて、日本国内で販売しているテリーヌやチョコレートの更なる品質向上のため、研究をおこなっています。クラフト生産システムを維持しながら、大量生産できる体制を模索しています。

さらに、ガーナの医療、教育、社会環境整備に収益を還元するシステムについて、基金を設立する方法が最善と考え、現在その設立準備を進めています。